

物価上昇により需要は停滞、悪循環が継続

経済的不安要素に加え、人材確保難など課題は山積み

～景況DI値は、前年同月比2.6ポイント低下のマイナス26.3～

*DIとは景気の動きをとらえるための指標。「増加、上昇、好転」の割合から「減少、低下、悪化」の割合を差し引いた値。

1. 2月鳥取県内の中小企業景況

売上（受注）高 製造業では、DI値前月比5.3ポイント上昇のマイナス10.5、前年同月比10.5ポイント低下のマイナス26.3。非製造業では、前月比52.6ポイント上昇のプラス15.8、前年同月比15.8ポイント上昇のプラス47.4。

販売（受注）価格 製造業では、DI値前月比5.2ポイント上昇のプラス10.5、前年同月比10.6ポイント低下のマイナス5.3。非製造業では、DI値前月比10.5ポイント上昇のプラス10.5、前年同月比5.2ポイント上昇のプラス47.3。

収益状況 製造業では、DI値前月比5.3ポイント上昇のマイナス15.8、前年同月比10.5ポイント低下のマイナス36.8。非製造業では、前月比47.3ポイント上昇のプラス15.8、前年同月比21.0ポイント上昇のプラス26.3。

資金繰り 製造業では、DI値前月比15.9ポイント低下のマイナス21.1、前年同月比5.2ポイント低下のマイナス36.8。非製造業では、前月比26.3ポイント上昇のプラスマイナス0、前年同月比同水準のプラスマイナス0。

雇用人員 製造業では、DI値前月比5.3ポイント上昇のマイナス10.5、前年同月比5.3ポイント上昇のマイナス26.3。非製造業では、前月比15.8ポイント上昇のプラスマイナス0、前年同月比5.2ポイント低下のマイナス5.2。

景況 製造業では、DI値前月比10.5ポイント低下のマイナス26.3、前年同月比10.5ポイント低下のマイナス42.1。非製造業では、前月比36.8ポイント上昇のプラスマイナス0、前年同月比5.3ポイント上昇のマイナス10.5。

県内中小企業の景況は、全業種景況DI値は、前月比13.2ポイント上昇のマイナス13.1、前年同月比2.6ポイント低下のマイナス26.3となった。製造業では、ほとんどの業種で原材料費等の高騰が続いているとともに、受注量が減少傾向となるなど厳しさを増している。非製造業では、降雪のない2月となり、観光関連では入込み客数が増加し、売上高は増加、業況も好転した。小売関連ではガソリン価格の高騰など経済的不安要素が拭えず、商品値上げによる消費離れを起こす動きも散見された。県内景況は、原材料、仕入価格等の高止まりによる経費負担の増加が続き、収益を圧迫するなど厳しさが増している。価格転嫁による物価の上昇が消費マインドを低下させ、需要を停滞させるなど悪循環が継続している。また、人手不足の深刻化や最低賃金上昇による人件費増加など問題が山積しており、依然として先行き不透明な状況が続いている。

2. 企業倒産 (株帝国データバンク調べ)

2月の全国倒産は、件数734件で、(前年同月574件、27.9%増)と、22ヵ月連続で前年同月を上回った。前年同月より160件多く、2月としては過去10年で最多となった。2023年4月-2024年2月の累計件数は8011件と、2022年度(6799件)を17.8%(1212件)上回った。負債総額は1361億6600万円(前年同月1005億4600万円、35.4%増)。3ヵ月連続で前年同月を上回り、2月としては4年連続で前年同月を上回った。

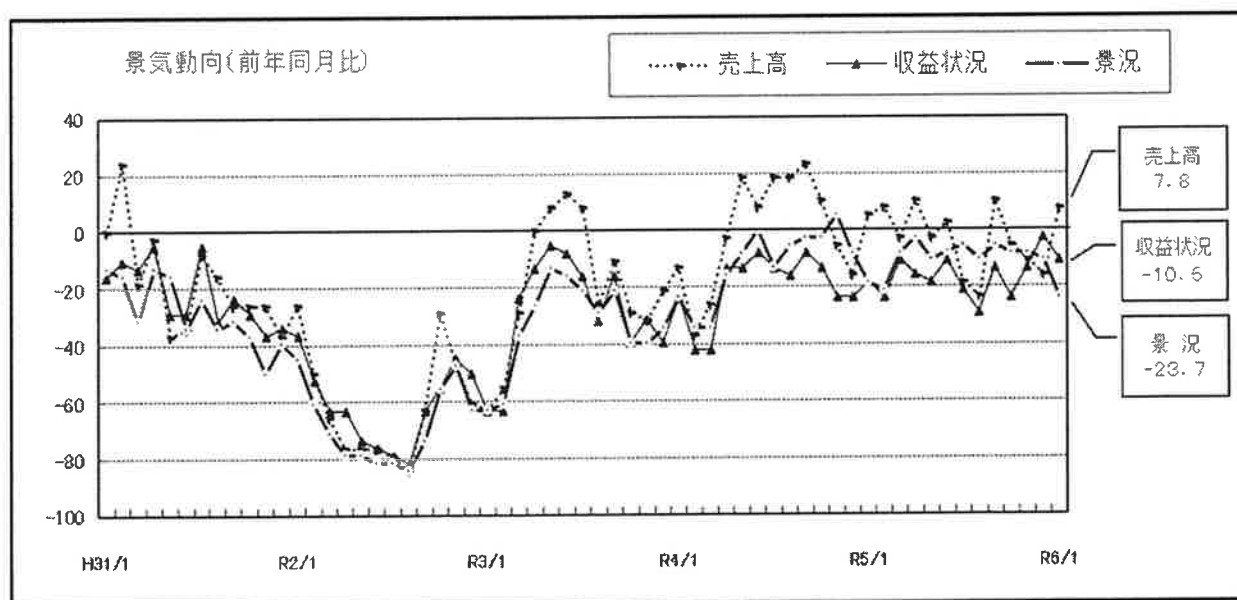
一方、2月の鳥取県内企業倒産は、倒産件数1件(前月7件)、負債総額は8億7100万円(前月12億800万円)であった。

3. 労働情勢 (鳥取労働局職業安定課調べ「労働市場月報1月分」)

鳥取県の1月の有効求人倍率(パートを含む速報値)は1.33倍(季節調整値)(全国有効求人倍率は1.27倍)で、前月より0.06ポイント上昇。各所別有効求人倍率(原数値)では、鳥取所1.18倍、米子所1.59倍、倉吉所1.52倍。新規求人倍率(パートを含む速報値)は2.54倍(季節調整値)で、前月より0.17ポイント上昇した。

新規求人数は、前年同月比5.5%減少し、有効求人数も10.3%減少となった。産業別に前年同月と比較すると、卸売業・小売業(4.1%)、製造業(0.8%)で増加した。

新規求職者数は、前年同月比1.5%減少、有効求職者数は前年同月比4.7%増加となった。パートタイムの有効求人倍率(原数値)は1.33倍で、前年同月比で0.29ポイント低下、新規求人数は前年同月に比べ10.9%減少した。



2月の中小企業景況

前月比	製造業			非製造業			全業種		
	増加	減少	D I	増加	減少	D I	増加	減少	D I
(1)売上高	21.1%	31.6%	-10.5 5.3	31.6%	15.8%	15.8 52.6	26.3%	23.7%	2.6 28.6
(2)在庫数量	5.3%	10.5%	-5.2 -5.2	8.3%	0.0%	8.3 8.3	6.5%	6.5%	0.0 0.0
(3)販売価格	10.5%	0.0%	10.5 5.2	10.5%	0.0%	10.5 10.5	10.5%	0.0%	10.5 7.9
(4)取引条件	0.0%	5.3%	-5.3 0.0	5.3%	0.0%	5.3 5.3	2.6%	2.6%	0.0 2.6
(5)収益状況	5.3%	21.1%	-15.8 5.3	21.1%	5.3%	15.8 47.3	13.2%	13.2%	0.0 26.3
(6)資金繰り	0.0%	21.1%	-21.1 -15.9	5.3%	5.3%	0.0 26.3	2.6%	13.2%	-10.6 5.2
(7)設備操業度	10.5%	15.8%	-5.3 10.5						
(8)雇用人員	5.3%	15.8%	-10.5 5.3	0.0%	0.0%	0.0 15.8	2.6%	7.9%	-5.3 10.5
(9)景況	0.0%	26.3%	-26.3 -10.5	10.5%	10.5%	0.0 36.8	5.3%	18.4%	-13.1 13.2

前年同月比	製造業			非製造業			全業種		
	増加	減少	D I	増加	減少	D I	増加	減少	D I
(1)売上高	15.8%	42.1%	-26.3 -10.5	63.2%	15.8%	47.4 15.8	39.5%	28.9%	10.6 2.8
(2)在庫数量	0.0%	15.8%	-15.8 5.3	16.7%	0.0%	16.7 0.0	6.5%	9.7%	-3.2 3.2
(3)販売価格	15.8%	21.1%	-5.3 -10.6	52.6%	5.3%	47.3 5.2	34.2%	13.2%	21.0 -2.7
(4)取引条件	5.3%	10.5%	-5.2 10.6	5.3%	5.3%	0.0 10.5	5.3%	7.9%	-2.6 10.6
(5)収益状況	5.3%	42.1%	-36.8 -10.5	36.8%	10.5%	26.3 21.0	21.1%	26.3%	-5.2 5.3
(6)資金繰り	0.0%	36.8%	-36.8 -5.2	10.5%	10.5%	0.0 0.0	5.3%	23.7%	-18.4 -2.6
(7)設備操業度	10.5%	21.1%	-10.6 -10.6						
(8)雇用人員	0.0%	26.3%	-26.3 5.3	5.3%	10.5%	-5.2 -5.2	2.6%	18.4%	-15.8 0.0
(9)景況	0.0%	42.1%	-42.1 -10.5	15.8%	26.3%	-10.5 5.3	7.9%	34.2%	-26.3 -2.6

*D Iとは、ディフュージョン・インデックスの略。D I欄上段は、「増加、上昇、好転」の割合から「減少、低下、悪化」の割合を差し引いた値。

*D I欄下段は、今月調査D I（上段）から前月調査D Iを差し引いた値。

4. 特記事項(景況の変化とその原因・現状等企業経営・業界での問題点)

製造業

【食料品】

一般食料品⇒ 原材料（小麦粉、砂糖、油脂等）をはじめエネルギー価格は依然高止まっております、収益を圧迫している。求人に関し、最低賃金に100円以上差を付けなければ応募がなく、人材確保は困難な状況にある。

醤油 ⇒ 業界全体としての取扱数量は減少しているものの、価格転嫁により売上高は味噌・醤油ともに前年並みで推移している。県下で一番の生産規模であった事業者が自主廃業となり、業界全体への影響が懸念される。

【繊維工業】

繊維製品 ⇒ 暖冬の影響により冬物の動きが悪く、春夏商品への影響が懸念される。人件費上昇や物価高の影響など、経費増が問題となっているが、加工賃に全て転嫁できていない状況。前年同月比で売上、収益状況とも横ばいとなった。

ニット製品 ⇒ 春夏物の受注状況が極めて悪く、先行き好転の兆しを感じられない。輸入品の供給過剰により衣料品の小売価格の値上げが困難な状態が継続している。円安などの原価アップ分も十分に価格転嫁できない状況が続いている。

【家具装備品】

⇒ 円安の影響による原材料等仕入価格の高騰及び燃料価格の高止まりによる輸送コストの増加により収益を圧迫している。多くの商品で値上げの動きもあり、消費者マインドも冷え込んでいる状況。前年同月比で売上は減少、収益状況は厳しい。

【木材・木製品】

製材品 ⇒ 製材用素材の入荷量、製材品の生産量はともに前月比で減少。合板の生産量についても前月比で減少となった。降雪の影響もあり出材は少なく丸太の価格は高くなっている。建築需要は低調に推移しており、製材品の動きについても活発さは感じられず、低調となっている。プレカット加工の稼働率は、前月比30%減少、前年同月比は40%減で推移した。

【紙・加工品】

和紙 ⇒ 円安の影響により原材料高等諸経費の高止まりが続いている。前年同月比で売上、収益状況とも横ばいで推移しているものの、引き続き業況は厳しい。

【印刷】

⇒ ここ数年続いていた用紙やインキの高騰は落ち着きを見せている。今後は価格転嫁を進めていく予定としている。新年度に向けた見積りや問い合わせなどが増えているほか、受注件数もコロナ禍前の水準まで回復してきている。

【窯業・土石製品】

生コン ⇒ 2月の生コン出荷量は、前月比で約18%増加、前年同月比で約17%減少となった。依然として東部地区で受注量が少なく、4月から大幅な減少が続いている。民間工事の案件が増加してきた感があるものの、前年を超える勢いは

感じられない。2024年問題による輸送関連の賃金の上昇に関心が持たれるが、販売価格への影響が懸念される。若手人材の確保が課題となっている。

【金属製品】

金属加工⇒ 建築関係は、県内物件は現状では少なくなっており、低価格競争の状況。今後の見積の動きも見えておらず、厳しい状況が続くことが予想される。機械加工は、仕事量を何とか確保しているものの、全体的に少ない状況となっている。自動車関係はダイハツ等の認証不正問題の先行き見通しが立たない状況。家電や産業機械関係の受注でしのいでいるものの、低価格競争による受注単価減少に加え、人件費等のコストアップで採算は厳しい。

鉄骨加工⇒ 県内の鉄骨造の物件が非常に少ないため、年明けから年度末までの山積み（月間・年間の受注高・状況）は厳しい状況となる見込みである。資材、人件費高騰の影響により建築単価は高止まりしているため、発注者の計画見合わせの動きも見られ、西日本全体でも山積みが低くなっており、赤字覚悟の低価格受注競争も散見される。

金属熱処理⇒ 2月の受注状況は前月比、前年同月比ともに若干の増加となったが、製造業全般の景気回復には至っていない。エネルギー価格に関し、電力料金は以前比べ20%程度の低下が見受けられる。売上高は前月比、前年同月比ともに増加となった。

【電気機械器具】

⇒ 発注側の在庫調整や生産調整が継続しており受注は依然として低迷している。原材料の供給は安定しているが、原材料価格高騰が続いており、経費増により収益面は厳しい。先行きが不透明な状況のなか、コロナ融資へ返済などにも影響が出かねない状況となっている。

非製造業

【卸売業】

東部地区⇒ 青果関係では、雪が少なく、気温も高いこともあり、前月比で売上、取扱数量ともに増加、前年同月比も売上、取扱数量ともに増加した。鮮魚関係では、前月比で売上、取扱数量ともに大きく増加した。前年同月比では取扱数量は増えたものの、売上高は単価の低下により横ばいとなった。賃上げの対応に苦慮しているほか、人手不足が問題となっている。

中部地区⇒ 昨年同様に官庁関連の入札案件は低調に推移している。民間の設備投資はいまだに消極的であり、コロナの5類移行後も電気代及び物価高騰の影響が大きく影響している。売上高は前月比で横ばい、前年同月比で増加となった。景況は依然として厳しい。

西部地区⇒ 新型コロナの5類移行を契機に対面営業や展示会等が再開されつつある。一方、食料品・消耗品の値上げに加え、燃料費の上昇による原価への影響が懸念される。また、仕入配送に関わるコスト増の影響、配送の減便とそれに伴うトラックの大型化等が散見され、影響の増大が懸念される。

水産物⇒ 2月は時化が多くブリ類の水揚げは低迷したが、上旬は大型巻きによるサバの豊漁、下旬には隠岐島の中型巻き網も加わりイワシの大漁があり浜は活気づい

た。高値続きとなっていた冷凍サバの荷動きも九州地区の終漁が迫り徐々に活発となりつつある。近海物は時化が多く松葉ガニ、若松葉を始めカレイ類も絶対量が少なく、品揃えに苦慮している。紅ズワイガニ漁は昨年と同等の水揚げとなったが、能登半島地震の影響、輸入ガニの安値感、慢性的な人手不足等の不安要素も重なり加工用は比較的安価で推移した。

リサイクル原料⇒ 依然として古紙の発生は減少傾向で推移しており、他地域からの進出により取扱量の減少が続いている。前年同月比で売上は減少、収益状況は依然として厳しい。

【小売業・商店街】

東部地区⇒ 鳥取の商店街では、例年より積雪は少なく、商店街内で飲食イベント等も開催されたことで来街者は増加傾向で推移している。商店街全体の売上も昨年度に対しては増加傾向にあるが、コロナ禍前と比べれば全体としては85%程度の状況。物価高、ガソリン価格の高騰等の経済的不安要素は改善しておらず、消費者マインドの低下が続いているうえ、商品値上げによる消費離れを起こす動きも散見される。引き続き、先行きに不安を覚え、節約モードで継続である。仕入れ価格等諸経費の高騰に伴う販売価格への価格転嫁が追いつかず、収益を圧迫。人手不足も深刻となり需要に応えられない状況も多く見られる。

中部地区⇒ 倉吉の商店街では、年度末に向けた動きが見受けられたものの、売上の増加には結びつかず厳しい状況。2月、3月とイベント実施の予定がなく来街者の減少が懸念される。後継者不足が深刻化しており、商店街活気の創出が喫緊の課題となっている。

西部地区⇒ 米子の商店街では、空き店舗に若者向けのPOP UP ショップ（古着などの雑貨）が3日間限定でオープンし、20代の女性客を中心に来街者が増加、周辺店舗への回遊も向上した。人気バンドのライブも開催され、商店街に活気が見られた。

境港市の水産物小売では、閑散期に入り、来場者数や売上高に大きな動きは見られなかった。香港便の就航により中国などからの観光客が増加傾向にある。売上高は前月比、前年同月比で横ばいとなった。

【旅館・観光】

⇒ 鳥取市の鳥取砂丘では、季節的な要因で入込客数が落ち込む時期であるが、例年より天候も良く、気温も高かったこともあり観光客の入込数は増加した。売上高は前月比、前年同月比ともに増加となり、収益状況は好転した。

米子市のホテル・旅館では、この時期は山陰地方特有の降雪の影響による観光需要の低下など閑散期に入るが、コロナの5類移行もあり前月比、前年同月比ともに宿泊客数、日帰り客ともに増加したことから収益状況も好転した。業界全体では、能登半島地震の影響による旅行控えや季節的要因も相まって景況は芳しくない。また、人手不足や物価上昇対策が課題となっている。

三朝温泉では、降雪もなく連休もあったことで前月より動きが見られた。OTA（Online Travel Agent）クーポンの駆け込み需要もあり、例年以上に入込客が増加した旅館も見受けられたが、小規模な旅館では動きがみられなかった。

羽合温泉では、2月の宿泊は前月比で横ばい、前年同月比で微増となった。

宿泊単価の上昇もあり、売上高は前年同月比で増加となった。週末の宿泊はある程度確保できたが、平日の宿泊が厳しい状況であった。

【自動車整備業】

⇒ 新車の販売は普通車、軽自動車を含わせて1,665台で前月比が約10%増加、前年同月比は約30%の減少となった。中古車は660台で前月比約50%増加、前年同月比は約30%増加した。継続検査（軽自動車を含む）は16,735台となり前月比で約30%増加、前年同月比は横ばいで推移した。

【建設業】

⇒ 1月の県内公共工事発注(西日本建設業保証(株)保証取扱)は、請負金額40億円(前年同月比112.2%増加)、件数83件(同112.8%増加)となった。年度累計(令和5年4月~令和6年1月)は、請負金額790億円(前年同月比23.8%増加)、件数1,469件(同6.1%増加)となった。公共投資、設備投資とも前年同月比でプラスとなったが、住宅投資は持家系を中心に引き続き弱い動きとなっている。住宅関係の民間工事の不振や建設資材の高止まりによるコストの増加が継続しているが、公共工事が底堅く下支えしている。4月から建設業の時間外労働の上限規制が施行されるため、対応に苦慮している。

1月の鳥取県新設住宅着工戸数は208戸(持家110戸、貸家98戸)で、前月比6%減少、前年同月比8%増加となった。

【運輸業】

東部地区⇒ 2月の物流は、復路輸送は荷物の発注情報量が減少しているため、全体的に荷物が不足傾向となっており、空車運行が増加している。売上高は単価競争が厳しくなったことで前月比、前年同月比ともに減少となった。高止まりしていた燃料価格はさらに値上がっており、収益率は低下、厳しい状況が続いている。

西部地区⇒ 燃料価格については前月価格から若干の減少で推移したものの、依然高止まりの状況が続いており、非常に厳しい。運送関連では、受注量は前月比で持ち直すも、前年同月比では減少傾向が継続している。今年4月より適用される2024年問題については、遠距離輸送を縮小し、中継基地を設け中距離へシフトしていく様子が見受けられる。

5. 中央会・行政庁への連絡要請事項

- ・国土強靱化事業に対し、県として国への予算要求に力点を置いてほしい。【生コンクリート製造業】
- ・新規工事が少なく、立ち行かない工場が出てくる恐れもあるため早急に対応を求める。【生コンクリート製造業】
- ・収益が上がっている大企業同様に、中小企業も価格転嫁が可能となるような施策を望む。【金属熱処理業】
- ・エネルギー価格をはじめ、コストの高騰に対する支援を望む。【商店街】
- ・景気回復に寄与する支援の充実を望む。【旅館業】

最近の指標の前月比D I の推移

		2023年												2024年		前年との増減幅
		2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月		
売上高	製造業	-10.5	0.0	-10.5	-15.8	0.0	0.0	-63.1	5.2	10.5	-10.5	26.3	-15.8	-10.5	0.0	
	非製造業	31.6	57.9	-57.9	5.2	-15.8	-21.1	26.3	-26.3	21.0	31.6	-10.5	-36.8	15.8	-15.8	
	全業種	10.5	28.9	-34.2	-5.3	-7.9	-10.5	-18.4	-10.5	15.8	10.5	7.9	-26.3	2.6	-7.9	
在庫数量	製造業	0.0	0.0	5.3	10.5	10.5	-5.2	-10.6	-21.1	-15.8	-5.2	-31.6	0.0	-5.2	-5.2	
	非製造業	8.3	16.7	0.0	0.0	0.0	8.3	-8.3	8.4	16.7	0.0	16.7	0.0	8.3	0.0	
	全業種	3.2	6.7	3.2	6.5	6.4	0.0	-9.6	-9.6	-16.1	-3.2	-12.9	0.0	0.0	-3.2	
販売価格	製造業	21.1	0.0	5.3	0.0	-5.3	-10.6	-15.8	-15.8	-15.8	-5.3	-5.2	5.3	10.5	-10.6	
	非製造業	15.8	15.8	-10.6	10.6	5.3	21.1	31.6	-5.3	0.0	42.1	36.8	0.0	10.5	-5.3	
	全業種	18.4	7.9	-2.6	5.3	0.0	5.3	7.9	-10.5	-7.9	18.4	15.8	2.6	10.5	-7.9	
取引条件	製造業	-10.5	0.0	-5.3	0.0	0.0	-5.2	0.0	-5.2	0.0	-5.2	0.0	-5.3	-5.3	5.2	
	非製造業	-5.3	0.0	0.0	0.0	0.0	-5.3	-5.3	0.0	-5.3	0.0	0.0	0.0	5.3	10.6	
	全業種	-7.9	0.0	-2.6	0.0	0.0	-5.3	-2.7	-2.7	-2.7	-2.7	0.0	-2.6	0.0	7.9	
収益状況	製造業	-31.6	-5.2	-26.3	-15.8	-31.5	-21.1	-47.3	-31.5	-10.5	-15.8	10.5	-21.1	-15.8	15.8	
	非製造業	0.0	21.1	-42.1	-10.5	-15.8	-47.4	21.0	-21.0	26.3	26.3	0.0	-31.5	15.8	15.8	
	全業種	-15.8	7.9	-34.2	-13.2	-23.7	-34.2	-13.1	-26.3	7.9	5.2	5.2	-26.3	0.0	15.8	
資金繰り	製造業	-21.1	-10.5	-15.8	-10.5	-15.8	-15.8	-21.1	-15.8	-10.5	-5.2	0.0	-5.2	-21.1	0.0	
	非製造業	0.0	10.5	-26.3	0.0	-15.8	-26.3	-5.3	-26.3	0.0	10.5	-10.5	-26.3	0.0	0.0	
	全業種	-10.5	0.0	-21.1	-5.2	-15.8	-21.1	-13.1	-21.1	-5.3	2.6	-5.2	-15.8	-10.6	-0.1	
設備操業度	製造業	-5.3	0.0	-21.1	-10.5	-10.5	-5.2	-36.8	-10.5	-5.3	-10.5	15.8	-15.8	-5.3	0.0	
雇用人員	製造業	-5.3	-10.5	0.0	-5.3	0.0	0.0	-21.1	-10.5	-10.5	-10.5	0.0	-15.8	-10.5	-5.2	
	非製造業	-5.3	0.0	5.3	10.5	-10.5	5.3	10.5	-10.5	0.0	5.3	0.0	-15.8	0.0	5.3	
	全業種	-5.3	-5.2	2.7	2.7	-5.3	2.6	-5.2	-10.5	-5.3	-2.7	0.0	-15.8	-5.3	0.0	
景況	製造業	-42.1	-26.3	-31.6	-36.8	-36.8	-21.0	-52.6	-31.6	-26.3	-15.8	-10.5	-15.8	-26.3	15.8	
	非製造業	5.3	21.1	-15.8	15.8	10.6	-21.1	21.1	-5.3	10.5	15.8	0.0	-36.8	0.0	-5.3	
	全業種	-18.4	-2.6	-23.6	-10.6	-13.2	-21.1	-15.8	-18.4	-7.9	0.0	-5.3	-26.3	-13.1	5.3	

最近の指標の前年同月比D I の推移

		2023年												2024年		前年との増減幅
		2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月		
売上高	製造業	-15.8	-36.8	-31.6	-31.6	-36.8	-42.1	-52.7	-15.8	-36.8	-26.3	-15.7	-15.8	-26.3	-10.5	
	非製造業	31.6	31.6	52.6	26.3	42.1	5.3	5.3	36.9	26.3	5.2	-15.8	31.6	47.4	15.8	
	全業種	7.9	-2.7	10.5	-2.6	2.6	-18.4	-23.6	10.5	-5.3	-10.5	-15.8	7.8	10.6	2.7	
在庫数量	製造業	0.0	-10.5	5.3	-5.3	-10.5	-21.0	-21.0	-21.1	-26.3	-26.3	-31.6	-21.1	-15.8	-15.8	
	非製造業	16.7	16.7	8.4	8.4	8.4	8.4	-8.3	8.3	-8.3	8.3	16.7	16.7	16.7	0.0	
	全業種	6.5	0.0	6.5	0.0	-3.2	-9.7	-16.2	-9.7	-19.4	-12.9	-12.9	-6.4	-3.2	-9.7	
販売価格	製造業	36.8	21.0	26.3	26.3	10.5	15.7	5.2	0.0	5.2	5.3	5.3	5.3	-5.3	-42.1	
	非製造業	21.1	26.3	36.8	36.9	47.3	52.6	57.9	47.3	42.1	52.6	47.3	42.1	47.3	26.2	
	全業種	28.9	23.6	31.6	31.5	28.9	34.2	31.6	23.6	23.7	28.9	26.3	23.7	21.0	-7.9	
取引条件	製造業	-5.3	-5.2	-10.5	-5.2	-21.0	-15.8	-15.8	-15.8	-15.8	-21.1	-10.5	-15.8	-5.2	0.1	
	非製造業	-15.8	-21.1	-15.8	-15.8	-21.1	-10.5	-15.8	-10.5	-10.5	-10.5	-5.2	-10.5	0.0	15.8	
	全業種	-10.5	-13.8	-13.2	-10.5	-21.1	-13.2	-15.8	-13.2	-13.2	-15.8	-7.9	-13.2	-2.6	7.9	
収益状況	製造業	-63.2	-52.6	-52.6	-47.3	-47.3	-42.1	-57.9	-47.3	-52.6	-26.3	0.0	-26.3	-36.8	26.4	
	非製造業	15.8	31.6	21.0	10.5	26.3	0.0	0.0	21.0	5.3	0.0	-5.3	5.3	26.3	10.5	
	全業種	-23.7	-10.5	-15.7	-18.4	-10.5	-21.0	-29.0	-13.1	-23.6	-13.1	-2.6	-10.5	-5.2	18.5	
資金繰り	製造業	-31.6	-31.6	-42.1	-42.1	-31.6	-36.8	-26.3	-31.5	-21.0	-15.8	-15.8	-31.6	-36.8	-5.2	
	非製造業	5.3	5.3	0.0	-10.6	0.0	-10.5	-21.0	5.3	0.0	-10.5	-5.3	0.0	0.0	-5.3	
	全業種	-13.2	-13.2	21.0	-26.3	-15.8	-23.7	-23.6	-13.2	-10.5	-13.1	-10.5	-15.8	-18.4	-5.2	
設備操業度	製造業	21.1	-15.8	-21.1	-21.0	-31.6	-31.6	-52.6	-31.5	-36.8	-31.6	-10.5	0.0	-10.6	-31.7	
雇用人員	製造業	-10.5	-15.8	-10.5	-15.8	-10.5	-15.8	-21.1	-10.5	-15.8	-10.5	-5.3	-31.6	-26.3	-15.8	
	非製造業	10.5	-5.3	-5.3	-10.5	-10.5	-5.3	-5.3	-10.5	-5.2	-15.8	-5.2	0.0	-5.2	-15.7	
	全業種	0.0	-10.5	-7.9	-13.1	-10.5	-10.5	-13.1	-10.5	-10.5	-13.1	-5.3	-15.8	-15.8	-15.8	
景況	製造業	-42.1	-42.1	-31.6	-42.1	-42.1	-36.8	-36.8	-26.3	-26.3	-21.0	-21.1	-31.6	-42.1	0.0	
	非製造業	0.0	26.3	26.3	21.1	26.3	26.3	15.8	15.8	10.5	5.3	0.0	-15.8	-10.5	-10.5	
	全業種	-21.1	-7.9	-2.6	-10.5	-7.8	-5.3	-10.5	-5.2	-7.9	-7.9	-10.5	-23.7	-26.3	-5.2	

情報連絡員報告総括表(令和6年2月分)

鳥取県中小企業団体中央会
連絡員総数38名
回答数 38(100%)

1-1 業界の景気動向(前月比)

	売上		在庫数量		販売価格		取引条件		収益状況		資金繰り		設備操業度		雇用人員		業界の景況								
	増加	減少	増加	減少	上昇	低下	好転	悪化	好転	悪化	好転	悪化	上昇	低下	増加	減少	好転	悪化							
製 造	食料品	1	0	1	0	1	0	2	0	1	0	1	1	0	1	1	0	0	2	0					
	繊維工業	0	2	1	0	3	0	0	3	0	2	1	0	2	1	0	3	0	0	2	1				
	木材・木製品	0	2	2	0	3	1	0	4	0	2	2	0	3	1	0	3	1	0	2	2				
	紙・紙加工品	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1				
	出版・印刷	1	1	0	0	2	0	0	2	0	2	0	2	0	1	0	2	0	0	2	0				
	化学ゴム																								
	窯業・土石製品	1	0	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	1	0				
	鉄鋼・金属	0	1	1	0	2	0	0	1	1	0	1	1	0	1	0	1	1	0	1	1				
	一般機器	1	1	0	3	0	1	2	0	0	3	0	0	3	0	0	3	0	0	3	0				
	電気機器	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1				
輸送用機器																									
その他																									
19	4	9	6	1	16	2	17	0	18	1	14	4	0	15	4	2	14	3	1	15	3	0	14	5	
100%	21.1%	47.4%	31.6%	5.3%	84.2%	10.5%	89.5%	0.0%	94.7%	5.3%	73.7%	21.1%	0.0%	78.9%	21.1%	10.5%	73.7%	15.8%	5.3%	78.9%	15.8%	0.0%	73.7%	26.3%	
非 製 造	卸売業	2	4	0	1	5	0	2	4	0	0	6	0	0	6	0	0	0	0	6	0	1	5	0	
	小売業	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0
	商店街	1	2	1	0	4	0	0	4	0	0	4	0	0	4	0	0	4	0	0	4	0	0	3	1
	サービス業	3	2	0				0	5	0	1	4	0	3	2	0	1	4	0	0	5	0	1	4	0
	建設業	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	1	0	0	1	0
	運輸業	0	1	1				0	2	0	0	1	1	0	1	0	2	0	0	0	2	0	0	1	1
	その他																								
	19	6	10	3	1	10	0	2	17	0	4	14	1	1	17	1	0	19	0	0	19	0	2	15	2
	100%	31.6%	52.6%	15.8%	8.3%	83.3%	0.0%	10.5%	89.5%	0.0%	21.1%	73.7%	5.3%	5.3%	89.5%	5.3%	0.0%	100.0%	0.0%	10.5%	78.9%	10.5%	0.0%	78.9%	10.5%
	38	10	19	9	2	26	2	4	34	0	1	5	28	5	1	32	5	2	14	3	1	34	3	2	29
100%	26.3%	50.0%	23.7%	6.5%	83.9%	6.5%	10.5%	89.5%	0.0%	13.2%	73.7%	13.2%	2.6%	84.2%	13.2%	10.5%	73.7%	15.8%	2.6%	89.5%	7.9%	5.3%	76.3%	18.4%	

情報連絡員報告総括表(令和6年2月分)

鳥取県中小企業団体中央会
連絡員総数38名
回答数 38(100%)

1-2 業界の景気動向(前年同月比)

	売上			在庫数量			販売価格			取引条件			収益状況			資金繰り			設備稼働度			雇用人員			業界の景況		
	増加	不変	減少	増加	不変	減少	上昇	不変	低下	好転	不変	悪化	好転	不変	悪化	好転	不変	悪化	上昇	不変	低下	増加	不変	減少	好転	不変	悪化
食料品	1	0	1	0	0	2	1	1	0	1	0	1	0	0	2	1	1	0	0	1	0	0	1	1	0	2	0
繊維工業	0	2	1	0	3	0	0	3	0	0	2	1	0	2	1	0	2	1	0	2	1	0	3	0	0	2	1
木材・木製品	0	1	3	0	3	1	0	2	2	0	3	1	0	0	4	0	2	2	0	3	1	0	3	1	0	0	4
紙・紙加工品	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	0	1	0	0	1
出版・印刷	1	1	0	0	2	0	0	2	0	0	2	0	0	2	0	1	1	0	0	2	0	0	2	0	0	2	0
化学コム																											
窯業・土石製品	0	0	1	0	1	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	1	0	0	1
鉄鋼・金属	0	1	1	0	2	0	0	1	1	0	1	1	0	0	2	0	1	1	0	1	1	0	1	1	0	1	1
一般機器	1	1	1	0	3	0	1	1	1	0	3	0	0	3	0	0	3	0	0	3	0	0	2	1	0	3	0
電気機器	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0
輸送用機器																											
その他																											
19	3	8	8	0	16	3	3	12	4	1	16	2	1	10	8	0	12	7	2	13	4	0	14	5	0	11	8
100%	15.8%	42.1%	42.1%	0.0%	84.2%	15.8%	15.8%	63.2%	21.1%	5.3%	84.2%	10.5%	5.3%	52.6%	42.1%	0.0%	63.2%	36.8%	10.5%	68.4%	21.1%	0.0%	73.7%	26.3%	0.0%	57.9%	42.1%
卸売業	3	2	1	0	6	0	3	2	1	0	6	0	1	5	0	0	6	0				0	5	1	1	5	0
小売業	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0	0	1	0				0	1	0	0	1	0
商店街	3	1	0	2	2	0	2	2	0	0	4	0	1	3	0	0	4	0				0	4	0	0	3	1
サービス業	5	0	0				4	1	0	1	3	1	5	0	0	2	3	0				1	4	0	2	2	1
建設業	1	0	0				1	0	0	0	1	0	0	0	1	0	0	1				0	0	1	0	0	1
運輸業	0	0	2				0	2	0	0	2	0	1	1	0	1	1	1				0	2	0	0	0	2
その他																											
19	12	4	3	2	9	0	10	8	1	1	17	1	7	10	2	2	15	2				1	16	2	3	11	5
100%	63.2%	21.1%	15.8%	16.7%	75.0%	0.0%	52.6%	42.1%	5.3%	36.8%	89.5%	5.3%	36.8%	52.6%	10.5%	10.5%	78.9%	10.5%				5.3%	84.2%	10.5%	15.8%	57.9%	26.3%
38	15	12	11	2	25	3	13	20	5	2	33	3	8	20	10	2	27	9	2	13	4	1	30	7	3	22	13
100%	39.5%	31.6%	28.9%	6.5%	80.6%	9.7%	34.2%	52.6%	13.2%	5.3%	86.8%	7.9%	21.1%	52.6%	26.3%	5.3%	71.1%	23.7%	10.5%	68.4%	21.1%	2.6%	78.9%	18.4%	7.9%	57.9%	34.2%